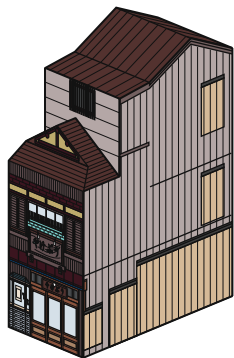


人形町 うぶげや

S ≒ 1/300



- ◆ 竣工年 | 昭和2年
- ◆ 所在地 | 人形町3丁目
- ◆ 業種・用途 | 刃物専門店

打刃物の製造販売をあしかけ4世紀、8代にわたり営む人形町（うぶげや）は昭和2年に建てられたという木造3階家だ。天明三（1783）年に大阪は船場の新町橋で創業、幕末期に江戸店を長谷川町（堀留町あたり）に出店し、現在地へと移ったのは明治初めの頃であるとのこと。洋鋏（裁鋏）をいち早く製造し、「うぶげや鍛造打刃物類」として中央区民文化財に指定された銘品の数々も店内に展示する。

鍛造打刃物とは読んで字のごとく、型入れし铸造するのではなく鋼をたいて造る刃物のことで、たたくことで不純物を取り除き、焼き入れによって硬度を高めながら、いくつもの工程を経て造られる。産毛も剃れる切れ味の包丁や鋏は、店に持ち込めば繰り返し研ぎ直しがきく「一生もの」である。

輪郭線を切りとり、「のりしろ」の番号順に組み立ててください。

山折り  
谷折り

